

2 課 あらかじめ味わったヤソン（使徒17:6）

序論の3つの祝福を味わっていると、ただキリストの中で生かして、生かされる出会いが与えられます。パウロは、序論の3つ（プラットフォーム、物見の塔、アンテナ）を24時、いつも祈っていました。

フォーラムしよう

「キリストの当然性」

パウロはテサロニケに行きました。
ヤソンだけではなく、テサロニケ地域には、神様に用いられる弟子たちがたくさんいました。

そこには「当然」キリストが必要でした。
ですから、そこに「当然」キリストだけを語るパウロが行きました。

使徒 17:3

そして、キリストは苦しみを受け、死者の中からよみがえらなければならないことを説明し、また論証して、「私があなたがたに伝えているこのイエスこそ、キリストなのです」と言った。

ただキリストだけを宣べ伝えました。
キリストがイエスだと語ったのです。

のちに、テサロニケ教会は、神様に大きく用いられました。



I テサロニケ 1:3-5

絶えず、私たちの父なる神の御前に、あなたがたの信仰の働き、愛の労苦、主イエス・キリストへの望みの忍耐を思い起こしています。

神に愛されている兄弟たち。あなたがたが神に選ばれた者であることは私たちが知っています。

なぜなら、私たちの福音があなたがたに伝えられたのは、ことばだけによったのではなく、力と聖霊と強い確信とによったからです。また、私たちがあなたがたのところで、あなたがたのために、どのようにふるまったかは、あなたがたが知っています。

この聖句を読んで黙想しましょう。

